

Weekly Report 2023-2024



創 立 1969年4月14日
承 認 1969年4月23日
チャーターナイト 1969年11月9日
発 行 I T・広報委員会

世界に希望を生み出そう

会長：磯崎裕騎 / 幹事：吉岡哲哉 / 副会長：村上義憲 / 会長エレクト：江島繁夫 / 副幹事：岩本達也 / S.A.A: 堀井実

今週のプログラム		第 2582 回	12月22日
(夜例会) クリスマス例会			
担当者	親睦活動委員会	例会場	JRホテルクレメント高松

先週のプログラム		第 2581 回	12月15日
年次総会			
担当者	会長・幹事・各委員長	例会場	JRホテルクレメント高松



磯崎会長挨拶

・ こんにちは。早いもので次次期を考える年次総会となりました。

後ほど江島会長エレクトにはよろしくお願ひします。

さて、先週は12月が疾病予防と治療月間だったため保健所から感染対策課の方に主にインフルエンザ予防についてお話し頂きました。一般論としてよいお話しで、間違いなく皆さんもこれからの季節にはお気をつけいただきたいのですが少し補足したいと思ひます。今年には特に夏場からインフルエンザが増えており例年にならぬパターンで増加して気をつけないとニュースでもお聞きになっていると思ひます。保健所の方が持ってきたスライドでもここ数年とは比較にならないほどの差が示されたグラフが出ていたと思ひます。ただあのグラフにプロットされていたのは何年間だったか覚えていらっしゃいますか？確か3年前からのグラフだったと思ひます。3年前からの状況といえは皆さんもご存知の通りコロナが流行してウィルス干渉という現象が生じたと説明されていますがインフルエンザが説明もつかないほど減少していた時期です。それと比較すれば今年が異常に多いという印象があったと思ひますが、非常事態宣

言が出された2020年のインフルエンザ発生数は56万件、翌年は1000件、昨年が2万件で今年が170万件と聞くと、ここ数年では突出しているように思ひますがそれ以前の2019年は190万件、前年の2018年も190万件とさほど変わらず、それ以前の厚労省の推計値では2000万人(2017/18シーズン)1500万人(2016/17シーズン)なども出されておりましたというものは都合よく切り取ることができません

医療の世界では一次情報にアクセスできるように出典を明記することが求められます。常に一次情報に触れて自分で考察することが必要だからです。

先週のお話は内容には間違いのないものの会員の皆様には一次情報の大切さにご配慮頂きたいと思ひます。

今日もどうぞよろしくお願ひします。

吉岡幹事報告

- ・ 回覧：ハイライトよねやま
- ・ 3月23日 小豆島にてIM 出欠確認

メイクアップ

- 12月7日 2720 Japan O.K. ロータリークラブ 大島
- 12月14日 高松RC 堀井 泉谷 低田 藤田

12月22日 今日は何の日	今日生まれの有名な人
ゆず湯/労働組合法制定記念日 1885年 我が国初の内閣成立 伊藤博文 1938年 生きた化石シーラカンス発見	1966年 国生さゆり 1956年 村上弘明 1947年 塚原光男
誕生花 アンブローシア、花言葉は“しあわせな恋”	1858年 プッチーニ 1847年 東郷平八郎 1823年 ファーブル
誕生石 サードニクス(sardnyx)、宝石言葉は“夫婦の幸福”	

四つのテスト

- 言行はこれに照らしてから
1. 真実かどうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるかどうか



ニコニコBOX	
理事をこころよくひきうけていただいた会員の皆様ありがとうございました。	江島
次々期の幹事に選任されました。がんばります。	堀井
妻に誕生祝いを頂いて。	鳥養
遅刻・早退	4件
合計 7 件	
本日 の 合計	25,000 円
2023-2024 年度 累計	443,000 円

出席報告		出席委員長：低田陽介	
会 員 数 /	42 名	出席規準数 /	40 名
出席者数 /	21 名	欠 席 者 数 /	19 名
出 席 率 /	52.50%	ビ ジ タ ー /	0 名
最終出席率 /	12 月 1 日	52.50% →	64.10%

ポール・ハリスの言葉 ロータリー情報委員会 加藤和理

17. 父が子に遺す最高の遺産

The best heritage a father can leave a son is the best education possible, and the ceaseless opportunity of earning his own living.

父が子の為に遺すことの出来る最高の遺産は、最良の教育と、自分の生活費は自分で稼ぐという金に換え難い機会を与えることである。

この言葉に続けて、ポールは次の様な逸話を紹介している

ある時、友人二人が双方共よく知っているさる大金持の息子のことで話し合っていた。一人の男は、この青年が勤勉で頭も良く、礼儀正しく何処から見ても申し分無い良い素質に恵まれているので、将来必ずや大成するに違いない、と誉め上げた。すると他の一人がこう言った「それはそうだろう……だが一つだけ足りない……彼は苦勞を知らない」= "All but one, He has never suffered" =.

そして彼は、「これ正に名言なり」= "Wise words!" =と絶賛し、およそ子供達に失望、煩悶、艱難、辛苦等が及ばぬ様に、とただ可愛がっている様な父親は、却って無意識の中にその子から人生最大の恩恵を奪っているのだ、と述べている。これはポール自身の生い立ちに裏付けられた心底からの実感だろう。

日本の諺にも一・〈苦勞屈托身の葉〉・一とか、一・〈苦勞は出世の梯子〉・一とか、また一・〈若い時の苦勞は買うてもせよ〉・一などと安逸を戒める言葉が数々ある。

IT・広報委員会よりお願い

週報に掲載させていただく記事・原稿を募集させて頂きたく会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。題目は自由として、できるだけ多くの皆様に近況報告も含め各業界分野の話、身近な随筆、提言等どんなお話でも結構です。投稿していただきます様、宜しくお願い申し上げます。

2023-2024 年度 1 2 月 定 例 理 事 会	
日 時	2023年12月15日
場 所	J Rクレメントホテル高松例会場
出席者	磯崎、遠藤、江島、村上、吉岡、堀井、大西岩本（オブザーバー）
議 題	① 例会日変更 →5/10 休会予定を夜間例会に変更 「55周年行事慰勞例会」 5/31 を休会に変更 ② 会員名簿制作を進める

矢島ロータリークラブ訪問に向けて その3

55周年事業委員会 接待担当委員 石川 洋介

矢島RCと友好クラブの締結

平成13年(2001年)12月、高松市と矢島スポーツ少年団との交流事業に当クラブが協賛し、地元高松の少年サッカーチームを主宰していた藤田清彦会員がチームの引率指導者として矢島町を訪問されました。歓迎会の席上で同会員が、「今回のスポーツ交流は高松西RCの支援の下に参加している」旨の挨拶をされたのが契機となり同席されていた矢島町の佐藤清園町長より「私も矢島クラブのロータリアンです。今後ロータリー間でも交流が出来るといいですね。」との挨拶がありました。帰高後、当時市議でもあった住谷会員より、西クラブ創立35周年記念事業の一つとして、縁組をする方向で検討しては如何、とのご提案を頂き以降行政の支援の下相互訪問を繰返し、平成15年(2003年)9月5日友好クラブ縁組が締結されました。矢島町で開催された調印式には当クラブより20名の会員・ご家族の外、総勢50名近い会員・関係者が出席し盛大に開催されました。



締結後の交流

締結後は行政とは別の視点でクラブ間での交流を図り教育文化、産業経済、観光などの交流促進を図っております。特に矢島町の高校を卒業された学生たちが例年高松短大に在学していた当時は例会場や家族会等に招いての交流は意義深いものでした。

また、日本最大級とも称される大曲の花火見物に20数名の会員・ご家族で参加したことが懐かしく思い出されます。なお、記憶に新しいところでは、木内会長が周年事業で訪問した際は、矢島クラブと合同で地元の矢島小学校に演台を寄贈したことが秋田新聞に取り上げられるなど、両クラブの緊密ぶりが報道されることもありました。

facebook

facebook でたくさんの写真を公開していますのでぜひご覧ください。
<http://www.facebook.com/TakamatsuWestRC>

次週のプログラム		第 2 5 8 3 回		1 月 1 2 日	
(夜例会) 新年家族例会					
担 当 者	親睦活動委員会	例 会 場	天勝		